

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	・ 私達、一般市民の暮らしが豊かになることに役立つ超高速ブロードバンド環境が整備されていくことについては歓迎する。 ・ しかし、国の財政が厳しい状況下で、環境整備に伴う費用を、結果的に国民が負担するようなことになるようでは、基盤整備の在り方自体が問題と言わざるを得ない。 未整備エリアは言い換えれば不採算エリアであると想定されることから、費用対効果を十分視野に入れた基盤整備の在り方を検討すべきであると考えます。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	・ 超高速ブロードバンドの利用率を向上させるために、NTTの組織形態の在り方も含め、事業者間の公正競争を活性化することが適切とあるが、それ以前に利用者が真に望むサービスメニューの充実と多様化、使い勝手の良い端末機器の開発などの検討を進め、利用者が利用したいと思うような環境づくりを優先すべきであると考えます。